



Chrome Enterprise Upgrade を使用したデバイスの 導入、管理、保護

ChromeOS に組み込まれているビジネス向け機能を Chrome Enterprise Upgrade で利用する



CEU の料金には、
Google による 24 時間 365 日対応の
サポートが含まれている



デバイスの直送が可能

ゼロタッチ登録では、従業員にデバイスが直送され、従業員はすぐにログインできます。



高度なセキュリティ機能

デバイスのワイプや無効化、自動再登録、ログイン制限の有効化をリモートで操作ため、適切なユーザーのみにデータの利用を制限できます。



独自のペースで更新管理

機能の更新を段階的に展開するか、長期サポートチャンネルの追加オプションを使用して自動展開するかを選択できます。



レポートと分析情報

7日間の使用状況、OSバージョン、クラッシュレポートなどの有益なレポートを作成できます。



詳細な管理機能

シングルサインオンの有効化、ID不要のログイン、プリンタとWiFiの設定が可能です。



スケーラブルなクラウドベースの管理

Google 管理コンソールを使ってデバイスをリモートで管理できるほか、サードパーティの統合エンドポイント管理ソリューションまたは Chrome Policy API を使って大規模に管理することもできます。



Chrome Enterprise Upgrade を使用することで、すべてのお客様のオフィスにある Chromebook を一元管理できるようになりました。当社のアプリケーションの特定のバージョンをテスト環境と本番環境にボタン1つでデプロイできるため、すべてのユーザーが使用するバージョンを統一できるようになりました。

David Murray 氏

Doctoi.com 社 最高技術責任者

さまざまなエンドポイントに対応できるように作られた デバイス管理ソリューション

さまざまなユースケースに対応する複数の ID オプション

- 不特定のユーザーがデバイスを使用する場合: 管理対象ゲストセッションを使用すると、再起動後にデータを消去できる
- ログインユーザーが使用する場合: アプリ、設定、ファイルを保存できる

	クラウド利用者	仮想化	デジタルサイネージ	顧客セルフサービス
不特定のユーザー		✓	✓	✓
ログインユーザー	✓	✓		

Chrome Enterprise Upgrade の機能

デバイスの直送が可能

ゼロタッチ登録では、従業員にデバイスが直送され、従業員はすぐにログインできます。必要な手順は次の3つだけです。



購入

サービスパートナーから
デバイスを購入する



発送

ユーザーにデバイスが
直送される



使用可能

デバイスがドメインに自動登録され、従業員の
ポリシー、設定、アプリが同期される



高度なセキュリティ機能

[紛失や盗難時のデータ保護](#)

紛失や盗難に遭ったデバイスをリモートで無効化して、データの盗難を防ぎます。

[永続登録機能](#)

デバイスが初期状態にリセットされた場合でも、確実に再登録されます。

[アプリケーション検証済みアクセス](#)

サードパーティのアプリケーションがサービスを提供するための要件として、デバイスの管理状態を把握することを許可します。

[ログイン管理](#)

従業員が未認証のアカウントを使用して管理対象の Chrome OS デバイスにログインできないようにブロックします。

[一時的ログインモード](#)

セッションのログアウト時にユーザーデータをデバイスから確実にワイプします。



きめ細かなデバイス管理機能

[デバイスポリシーの有効化と無効化](#)

デバイスポリシーを有効または無効に設定できます。事前設定されているデフォルトのポリシーを信頼してそのまま使用することも可能です。

[ローカルプリンタとネットワークプリンタの設定](#)

ユーザーとプリンタの設定を行うことができます。ユーザー全員に対してまたは特定のグループに対して、プリンタを追加、削除できます。

[ネットワークとプロキシの設定](#)

組織に登録されている管理対象デバイスのWiFi ネットワーク、VPN ネットワーク、イーサネット、ネットワーク証明書を設定できます。

[クライアント証明書の管理](#)

組織内部のウェブリソースの認証用にユーザーとデバイスの証明書を管理、プロビジョニングします。

[OSと機能の更新の管理](#)

更新を段階的に展開するか、長期サポート (LTS) チャンネルの追加オプションを使用して自動展開するかを選択できます。



レポートと分析情報

デバイスのレポートと分析情報

Chrome OS デバイスのレポートを分析して、デバイスと使用状況に関する有益な情報を収集できます。たとえば次のようなレポートがあります。

- 7 日間の使用状況: 過去 1 週間にユーザーがログインした Chrome OS デバイスを（重複なしで）表示します。
- 起動モード: デバイスの起動モードを表示します。
- バージョン別のデバイス数: Chrome OS のバージョン別のデバイス数を表示します。
- デバイスのリリースチャンネル: 現在のデバイスのリリースチャンネルを表示します。
- OS バージョンに関するポリシーの遵守: デバイスの OS のバージョンが、組織のポリシーで指定した OS に沿っているかどうかを表示します。
- 自動更新の有効期限 (AUE) レポート: 選択した期間に有効期限切れとなるデバイスの数を月別に表示します。

レポートデータの書き出し

レポートデータを Google スプレッドシートに書き出したり、CSV ファイル形式でダウンロードしたりできます。



スケーラブルなクラウドベースの管理

Google 管理コンソール

Google 管理コンソールを使用して、ユーザー補助機能、ネットワークファイル共有、印刷管理、自動更新の設定、ゲストセッションなどの 500 以上のポリシーを設定できます。

ネイティブの Azure AD との連携

既存の Active Directory インフラストラクチャと直接連携して、使い慣れたログイン画面をエンドユーザーに提供できます。¹

高度な SAML SSO

SAML SSO との連携により、エンドユーザーがデバイスやアプリケーションにシームレスにログインできるようになります。

サードパーティの UEM

業界大手の UEM プロバイダを使用して、ポリシーの設定やデバイスのリモートオーケストレーションを行うことができます²。

Chrome Policy API

Chrome Policy API を使用してカスタムスクリプトを作成し、Chrome ポリシーを大規模に管理できます。

Chrome Management Telemetry API

Chrome Management Telemetry API を使用して、Chrome OS デバイスの操作と稼働状況をモニタリングできます。

Chrome Enterprise Upgrade の無償試用を開始 chromeenterprise.google/os/upgrade

Chrome Enterprise Upgrade のメーカー希望小売価格は、地域や販売パートナーによって異なります。

お客様の地域における具体的な価格につきましては、販売パートナーまでお問い合わせください。



カスタマイズ可能な **ChromeOS Readiness Tool**（無償）については chromeenterprise.google/os/readiness をご覧ください。

ご不明な点は、TD SYNnex 相談窓口までご相談ください。

jp_chrome@tdsynnex.com

